

市原市池和田

御園生進家文書

平成20年

市原の古文書研究会

御園生進家文書

慶応4年（一八六八）、去卯池和田村皆濟目録 || 資料 4 5

明治元年（一八六八）、去卯池和田村勘定目録 || 資料 4 7

明治元年（一八六八）、去丑池和田村勘定目録 || 資料 4 8

慶応4年（一八六八）、総督府御賄入用割返し帳 || 資料 4 3

明治2年（一八六九）、池和田村代官巡見入用帳 || 資料 5 0

利金ノ一兩二朱なり

御白取書取書

以金三兩五匁外能取書取書

金三兩五匁外能取書取書

金三兩五匁外能取書取書

御白取書取書

御白取書取書

御白取書取書

御白取書取書

御白取書取書

御白取書取書

御白取書取書

御白取書取書

利金ノ一兩二朱なり

二口ノ百二十兩二朱なり

引きノ金二十三兩三分と銀一匁六分五厘

右の内 金五十三兩なり 御物成半減、御重金御上納仕り候

惣引きノ金三分と銀一匁六分五厘 右年賦 御扶持御拝借米

一御米六俵と二斗六升六合六勺六才六毛 年延仕り下し置かれ候

右は去る卯御年貢米永、勘定目録仕立て差上げ奉り候。もし算

違い、書損等これあり候わば重ねて認(したた)め直し差上げ

べく候。以上 慶応四辰年 上総国市原郡池和田村

正月日 組頭 又五郎

鈴木徳之進様 御内 横田宇右衛門様 名主 安兵衛

去卯皆済目録写

上総国市原郡 池和田村

御國生進家文書45 慶応4年(一八六八)、去卯池和田村皆済目録

去卯皆済目録写し

上総国市原郡 池和田村

一御米百十五俵なり

外に 米二升 見取場御年貢

米六斗 種子利米

米三俵と一斗八升 右口米

合せて百二十一俵なり 内二俵は餅なり 右の内 名主給米下し置かれ候

米二俵なり 天神扶持下し置かれ候

米二斗四升

御物成

見取場御年貢

種子利米

右口米

名主給米下し置かれ候

天神扶持下し置かれ候

一 御取付は... 運賃...
 一 御取付は... 運賃...

一 御取付は... 運賃...
 一 御取付は... 運賃...

一 御取付は... 運賃...
 一 御取付は... 運賃...

一 御取付は... 運賃...
 一 御取付は... 運賃...

一 御取付は... 運賃...
 一 御取付は... 運賃...

一 御取付は... 運賃...
 一 御取付は... 運賃...

一 御取付は... 運賃...
 一 御取付は... 運賃...

米二斗四升
 米二斗五升二合
 一御米十二俵なり
 五口合わせて
 十五俵と三斗三升二合
 御引き方引き残して
 米百四俵と六升八合
 外に
 大豆一俵なり
 一御飯米二十俵なり
 内二俵は餅米なり
 一大豆一俵なり
 引き残して
 米八十四俵と六升八合
 相場面に二斗かえ
 代金百六十八両一分一朱と
 銀一匁六分五厘
 堀扶持下し置かれ候
 運賃米
 御用捨米下し置かれ候

納四斗入り
 御上納仕り候
 御上納仕り候

御上納仕り候

一 金五両二分なり
 一 銀三匁七分五厘
 惣ノ百七十三両三分二朱と銀一匁六分五厘
 細方永納
 新畑御年貢

卯五月
 一 金十両なり
 一 金十五両なり
 卯十二月
 一 金四十五両なり
 卯十二月
 一 金九両なり
 卯十二月
 一 金三両なり
 卯十二月
 一 金十五両なり
 卯十二月
 一 金七両なり
 一か月分利足夏成にて引き
 この利二分二朱なり
 御上納仕り候
 この利一分なり
 御上納仕り候
 この利一朱なり
 御上納仕り候
 御上納仕り候
 御上納仕り候
 御上納仕り候
 御上納仕り候
 御上納仕り候
 御上納仕り候

元金ノ百十九両なり
 御上納仕り候

米八十四俵と六升八合

相場... 代金百七十三兩三分二朱と銀一匁六分五厘

相場面に二斗かえ

代金百六十八兩一分一朱と銀一匁六分五厘

米八十四俵と六升八合
相場面に二斗かえ
代金百六十八兩一分一朱と銀一匁六分五厘

惣... 白七指...

一金五兩二分なり
銀三匁七分五厘
惣ノ百七十三兩三分二朱と銀一匁六分五厘

卯五月
一金十兩なり
この利二分二朱なり
御上納仕り候

卯九月
一金十兩なり
この利一分なり
御上納仕り候

卯十月
一金五兩なり
この利一朱なり
御上納仕り候

卯十一月
一金十五兩なり
この利三朱なり
御上納仕り候

卯十二月
一金四十五兩なり
御上納仕り候

一 金指... 一 金指... 一 金指... 一 金指... 一 金指... 一 金指... 一 金指... 一 金指... 一 金指... 一 金指...

此上納仕り候
此上納仕り候
此上納仕り候
此上納仕り候
此上納仕り候
此上納仕り候
此上納仕り候
此上納仕り候
此上納仕り候
此上納仕り候

米書... 笠解...

地頭所

前書の通り相違なく皆済せしむものなり。
辰正月
地頭所

右の通り去る卯お年貢皆済目録写しをもって差し上げ奉り候。
以上

右へ通云... 年貢皆済目録写し

慶応四年七月

右村
安兵衛印

知縣事

御役所

右村
名主 安兵衛印

去卯卯勘定目録写

御園生進家文書47
 明治元年(一八六八)、去卯池和田村勘定目録

去る卯勘定目録写し

一御米百十五俵

外に

米二升

米六斗

米三俵と一斗八升

合せて百二十一俵の

内二俵は餅米なり

右の内

御物成

延口とも

見取場御年貢

種子利米

右口米

一卯米白指俵

加

米取俵

米六斗

米三俵と一斗八升

水口城

見取場御年貢

種子利米

右口米

合米白取指俵

口取俵と俵米也

石口

米取俵也
 米取俵也
 米取俵也
 米取俵也

名主給米下し置かれ候
 天神扶持下し置かれ候
 堰扶持下し置かれ候
 運賃米

一卯米指俵

加

指俵と一斗八升

卯米白指俵

米白指俵と一斗八升

大豆一俵なり

御飯米二十俵なり

内二俵は餅米なり

大豆一俵なり

外に

大豆一俵なり

御飯米二十俵なり

内二俵は餅米なり

引き残して

一御米十二俵なり

五口合わせて

十五俵と三斗三升二合

御引き方引き残して

米百四俵と六升八合

名主給米下し置かれ候
 天神扶持下し置かれ候
 堰扶持下し置かれ候
 運賃米
 御用捨米下し置かれ候

納四升入り
 御上納仕り候
 御上納仕り候

去丑年勘定目録写

池和田村

御園生進家文書48
明治元年(一八六八)、去丑池和田村勘定目録

去る丑年勘定目録写し

池和田村
御物成
延口とも
見取場御年貢
種子利米
右口米
一御米百十五俵
外に
米二升
米六斗
米三俵と一斗八升
合せて百二十一俵なり
内二俵は餅米なり
右の内

一御米百十五俵

御物成
延口とも

見取場御年貢

種子利米

右口米

金百兩
日取俵

古

一御金九兩なり

御上納仕り候

一御金三兩なり

御上納仕り候

一御金七兩なり

御上納仕り候

一御金七兩なり

御上納仕り候

元金百十九兩なり
利金一兩二朱なり

卯十二月
一金九兩なり
卯十二月
一金三兩なり
卯十二月
一金十五兩なり
卯十二月
一金七兩なり
元金百十九兩なり
利金一兩二朱なり

御金百兩

引金五十三兩三分と銀一匁六分五厘

御物成半減、御軍金上納仕り候

御上納仕り候

二口百二十兩二朱なり
引金五十三兩三分と銀一匁六分五厘
右の内
御米六俵と
二斗六升六合六勺六才六毛
御扶食御拝借米
年延下し置かれ候

一御金三兩なり
御上納仕り候

右に去る卯御年貢米永、勘定目録仕立て差上げ奉り候。もし算
違ひ、音損じ等これあり候わば重ねて認直し差し上げ奉り候。

慶応四年
正月日

上総国市原郡池和田村
組頭 久五郎
名主 安兵衛

鈴木徳之進様

横田宇右衛門様

慶応四年
正月日

上総国市原郡池和田村
組頭 久五郎
名主 安兵衛

前書通り平右衛門様

地頭所

辰
正月

地頭所

右は去る卯御年貢米永、勘定目録仕立て差上げ奉り候。もし算
違ひ、音損じ等これあり候わば重ねて認直し差し上げ奉り候。

慶応四年
正月日

上総国市原郡池和田村
組頭 久五郎
名主 安兵衛

鈴木徳之進様

横田宇右衛門様

辰正月
地頭所

右の通り去る卯御年貢米永、勘定目録仕立て差上げ奉り候。

明治元年
辰十月日

上総国市原郡池和田村
組頭 久五郎
名主 安兵衛

鈴木徳之進様

横田宇右衛門様

辰正月
地頭所

右の通り去る卯御年貢米永、勘定目録仕立て差上げ奉り候。

明治元年
辰十月日

上総国市原郡池和田村
組頭 久五郎
名主 安兵衛

鈴木徳之進様

横田宇右衛門様

辰正月
地頭所

右の通り皆済目録写し書き上げ奉り候。もし算違ひ、
 右は去る丑御年貢米永勘定録仕立て差上げ奉り候。もし算違ひ、
 書損じ等これあり候わば重ねて認直し差上げ奉り候。以上

慶応二寅年
 三月日
 組頭 久五郎
 名主 安五郎

鈴木徳之進様
 横田宇右衛門様

前書通り相違なく皆済せしむものなり。
 寅 正月
 地頭所

地頭所

右の通り皆済目録写し書き上げ奉り候。以上

明治元辰十月
 八幡宿
 名主 安五郎印

明治元辰十月

八幡宿
 名主 安五郎印

米取儀也
 米取身付并
 米取身付并
 米取身付并
 名主給米下し置かれ候
 天神扶持下し置かれ候
 堰扶持下し置かれ候
 海賃米

口合合
 三俵と三斗二升
 御引き方引き残して
 百十六俵と八升

大豆一俵
 御飯米九俵
 内二俵は餅米なり
 一大豆一俵
 御飯米十俵

米取儀也
 米取身付并
 米取身付并
 米取身付并
 納四斗入り
 御上納仕り候
 御上納仕り候

大豆一俵
 御飯米九俵
 内二俵は餅米なり
 一大豆一俵
 御飯米十俵

米取儀也
 米取身付并
 米取身付并
 米取身付并
 納四斗入り
 御上納仕り候
 御上納仕り候

相場
 代金百六十九兩と
 銭二百八十八文

百五十五文 庄左衛門 相渡し申し候
 一貫七百四十五文 安兵衛 同断
 三文 安右衛門 同断
 二百三十七文 市左衛門 同断
 六百十六文 徳右衛門 同断
 二十五文 惣右衛門 同断
 一貫八百十五文 孫兵衛 同断
 七百五十五文 東光寺 同断
 二百五十七文 仁左衛門 同断
 五十七文 茂左衛門 同断
 四百四十文 甚左衛門 同断
 四貫四百七十八文 正福寺 同断
 二百七十七文 八兵衛 同断
 二百九十一文 八右衛門 同断
 一貫八百四十八文 藤右衛門 同断
 三百十六文 仁兵衛 同断
 二百七十六文 善左衛門 同断
 一貫六十四文 彦兵衛 同断
 六百四十九文 彦七郎 同断
 三貫二十五文 喜兵衛 同断
 二百三十一文 喜右衛門 同断
 二貫四百七十七文 小左衛門 同断

徳督府御用割返性

慶應四年(一八六八) 池和田村

同日 池和田村

金四十四両なり 一石に付き
 向に銀十一貫文 長銀一貫と五十六文
 この銀四百四十貫文 同引きて 勘左衛門
 四百二十二貫四百文 高四百石にて割り
 高四百石にて割り 一石に付き
 高百七十二石 長銀一貫と五十六文
 一錢百八十九貫二百文 勘左衛門
 高百四十八石 健治
 一錢百六十二貫八百文 安兵衛
 高八十八貫文 安兵衛

御園生進家文書43
慶應4年(一八六八)、總督府御賄入用割返し帳

慶應四年 池和田村
總督府御賄入用割返し帳 三給役人
閏四月二十日

勘定奉行
 丁後
 九百石割り
 九百石割り
 九百石割り

一 勘定奉行 源右衛門 相渡し申し候
 二 勘定奉行 源右衛門 同断
 三 勘定奉行 源右衛門 同断
 四 勘定奉行 源右衛門 同断
 五 勘定奉行 源右衛門 同断
 六 勘定奉行 源右衛門 同断
 七 勘定奉行 源右衛門 同断
 八 勘定奉行 源右衛門 同断
 九 勘定奉行 源右衛門 同断
 十 勘定奉行 源右衛門 同断
 十一 勘定奉行 源右衛門 同断
 十二 勘定奉行 源右衛門 同断
 十三 勘定奉行 源右衛門 同断
 十四 勘定奉行 源右衛門 同断
 十五 勘定奉行 源右衛門 同断
 十六 勘定奉行 源右衛門 同断
 十七 勘定奉行 源右衛門 同断
 十八 勘定奉行 源右衛門 同断
 十九 勘定奉行 源右衛門 同断
 二十 勘定奉行 源右衛門 同断

四百石割り
 一 錢八十八貫文
 同取って
 八十四貫四百八十文
 この割高一石に付き
 丁錢九百四十三文九分八厘四毛
 一 一貫三百八十八文 岩 勘右衛門 相渡し申し候
 二 一貫六十八文 岩 三郎左衛門 同断
 三 一貫七十九文 岩 治兵衛 同断
 四 一貫九十一文 岩 九右衛門 同断
 五 一貫九十二文 岩 喜左衛門 同断
 六 一貫九十四文 岩 三右衛門 同断
 七 一貫九十六文 岩 吉兵衛 同断
 八 一貫九十八文 岩 助左衛門 同断
 九 一貫一百文 岩 与兵衛 同断
 十 一貫一百一十文 岩 庄右衛門 同断
 十一 一貫一百二十文 岩 平右衛門 同断
 十二 一貫一百三十文 岩 佐右衛門 同断

一 勘定奉行 源右衛門 相渡し申し候
 二 勘定奉行 源右衛門 同断
 三 勘定奉行 源右衛門 同断
 四 勘定奉行 源右衛門 同断
 五 勘定奉行 源右衛門 同断
 六 勘定奉行 源右衛門 同断
 七 勘定奉行 源右衛門 同断
 八 勘定奉行 源右衛門 同断
 九 勘定奉行 源右衛門 同断
 十 勘定奉行 源右衛門 同断
 十一 勘定奉行 源右衛門 同断
 十二 勘定奉行 源右衛門 同断
 十三 勘定奉行 源右衛門 同断
 十四 勘定奉行 源右衛門 同断
 十五 勘定奉行 源右衛門 同断
 十六 勘定奉行 源右衛門 同断
 十七 勘定奉行 源右衛門 同断
 十八 勘定奉行 源右衛門 同断
 十九 勘定奉行 源右衛門 同断
 二十 勘定奉行 源右衛門 同断

一 勘定奉行 源右衛門 相渡し申し候
 二 勘定奉行 源右衛門 同断
 三 勘定奉行 源右衛門 同断
 四 勘定奉行 源右衛門 同断
 五 勘定奉行 源右衛門 同断
 六 勘定奉行 源右衛門 同断
 七 勘定奉行 源右衛門 同断
 八 勘定奉行 源右衛門 同断
 九 勘定奉行 源右衛門 同断
 十 勘定奉行 源右衛門 同断
 十一 勘定奉行 源右衛門 同断
 十二 勘定奉行 源右衛門 同断
 十三 勘定奉行 源右衛門 同断
 十四 勘定奉行 源右衛門 同断
 十五 勘定奉行 源右衛門 同断
 十六 勘定奉行 源右衛門 同断
 十七 勘定奉行 源右衛門 同断
 十八 勘定奉行 源右衛門 同断
 十九 勘定奉行 源右衛門 同断
 二十 勘定奉行 源右衛門 同断

二百一十一文 太兵衛 源右衛門 同断
 二百二十七文 小右衛門 相渡し申し候
 九貫七百五十二文 勘左衛門 同断
 三百十四文 三四郎 同断
 一百一十七文 太兵衛 同断
 六十二文 市郎左衛門 市郎兵衛 同断
 一貫六百八十七文 与惣兵衛 同断
 五百七十二文 瀬兵衛 同断
 二百八十五文 惣兵衛 同断
 一貫六百六十二文 勘兵衛 同断
 二貫百四十二文 松之助 同断
 四貫四百八十三文 市郎左衛門 同断
 二百二十文 新兵衛 伝左衛門 同断
 五百五十四文 市郎左衛門 伝兵衛 同断
 二百一十二文 新左衛門 同断
 一貫五十四文 清兵衛 同断
 五十七文 無尽歩 同断
 一百十四文 平右衛門 同断
 一百十六文 新兵衛 同断
 一百二十七文 瀬兵衛 治左衛門 同断
 五百五十一文 吉兵衛 太郎左衛門 同断
 二百三十五文 半左衛門 六右衛門 同断

御奉行所御代官御巡見入用帳
 一 善右衛門 一貫七十二文
 二 嘉兵衛 一貫五十五文
 三 善右衛門 三貫二百五十五文
 四 重左衛門 二貫八十七文
 五 重兵衛 二貫百十文
 六 隱居分 一貫三十一文
 七 久兵衛 一貫八百六十六文
 八 利左衛門 六百三十四文
 九 儀右衛門 二百六十三文
 一〇 光明寺 二貫四百二文
 一一 法泉寺 八百二十二文
 一二 伊兵衛 一百二十七文
 一三 善兵衛 四百と三文
 一四 治郎左衛門 一貫八百四十七文
 一五 治郎兵衛 九百九十五文
 一六 庄左衛門 一貫六百六十文

一 相渡し申し候
 二 同断
 三 同断
 四 同断
 五 同断
 六 同断
 七 同断
 八 同断
 九 同断
 一〇 同断
 一一 同断
 一二 同断
 一三 同断
 一四 同断
 一五 同断
 一六 同断
 一七 同断
 一八 同断
 一九 同断
 二〇 同断

一 一貫七十二文 弥右衛門 相渡し申し候
 二 一貫五十五文 嘉兵衛 同断
 三 三貫二百五十五文 善右衛門 同断
 四 二貫八十七文 重左衛門 同断
 五 二貫百十文 重兵衛 同断
 六 一貫三十一文 隱居分 同断
 七 一貫八百六十六文 久兵衛 同断
 八 六百三十四文 利左衛門 同断
 九 二百六十三文 儀右衛門 同断
 一〇 二貫四百二文 光明寺 同断
 一一 八百二十二文 法泉寺 同断
 一二 一百二十七文 伊兵衛 同断
 一三 四百と三文 善兵衛 同断
 一四 一貫八百四十七文 治郎左衛門 同断
 一五 九百九十五文 治郎兵衛 同断
 一六 一貫六百六十文 庄左衛門 同断

御奉行所御代官御巡見入用帳

己正月 日 役人

御奉行所御代官御巡見入用帳
 一 鯛大一枚
 二 かわび大三つ
 三 かんぽこ一本
 四 せんこん上四本
 五 さめ切り身
 六 大根
 七 上菓子 中菓子
 八 白砂糖、長いも、青板、椎たけ
 九 くわい十二
 一〇 かんびよう
 一一 両人小遣い
 一二 蠟燭八丁
 一三 内二丁廻状持、内二丁触当、
 一四 内二丁内にて入用、内二丁矢田外に入用

御園生進家文書50
 明治2年(一八六九)、池和田村代官巡見入用帳

明治二年
 水野出羽守様
 御奉行所御代官御巡見入用帳
 巳正月日
 池和田村
 三給役人

覚
 辰十月七日
 一 錢十三貫七百文 長南買い物

内
 二 貫文
 一 貫六百四十八文
 二 三百文
 三 一貫二百文
 四 二貫二百文
 五 二百四十八文
 六 二貫五百文
 七 二貫四百文
 八 三百文
 九 四百文
 一〇 五百文
 一一 勘左衛門立て替え
 一二 四百文

乙卯年
金一貫二百文

井上様御役人
四人中飯

石川役人、大和田、加茂村役人

二口

小以ノ金一兩と二貫二百文

内

金二朱と四百三十二文引き 残し下さる

同ノ金二朱と一貫七百六十四文 彦兵衛立替え

一四貫六百二十四文 同人分

この利百四十二文 品々紙代、牛久割請とも

一金一兩一分二朱と二百七十五文 遠州浜松諸入用割り

この利二百四十九文 同人立替え

一三貫三百文 中飯十二人、両度分

一金二兩三朱と錢十貫三百六十二文 彦兵衛立替え

一錢六貫文 三給定使、稀なる通行に付き増し

正月七日 長南小歩賃錢

一六貫文 惣兵衛行一日三百文、二日分

正月十八日 長南小歩賃錢

一六貫文 瀬兵衛行一日三百文、二日分

正月十九日 長南御酒下され引き取り

一五貫文 人馬、松五郎行賃錢

四口ノ七貫七百文

總合わせて金十六兩二分と二十一貫百九十一文

兩に十貫八百文かえ

巳正月九日
井上様御役人
四人中飯
中飯八人
石川役人、大和田、加茂村役人

二口
小以ノ金一兩と二貫二百文

内
金二朱と四百三十二文引き 残し下さる

同ノ金二朱と一貫七百六十四文 彦兵衛立替え

一四貫六百二十四文 同人分

この利百四十二文 品々紙代、牛久割請とも

一金一兩一分二朱と二百七十五文 遠州浜松諸入用割り

この利二百四十九文 同人立替え

一三貫三百文 中飯十二人、両度分

一金二兩三朱と錢十貫三百六十二文 彦兵衛立替え

一錢六貫文 三給定使、稀なる通行に付き増し

正月七日 長南小歩賃錢

一六貫文 惣兵衛行一日三百文、二日分

正月十八日 長南小歩賃錢

一六貫文 瀬兵衛行一日三百文、二日分

正月十九日 長南御酒下され引き取り

一五貫文 人馬、松五郎行賃錢

四口ノ七貫七百文

總合わせて金十六兩二分と二十一貫百九十一文

兩に十貫八百文かえ

残して百九十九貫三百九十一文

同引きて 百九十一貫四百四十九文

高四百石割り
高一石に付き
丁錢四百七十八文五分四厘七毛五

井上様御役人
四人中飯

石川役人、大和田、加茂村役人

二口

小以ノ金一兩と二貫二百文

内

金二朱と四百三十二文引き 残し下さる

同ノ金二朱と一貫七百六十四文 彦兵衛立替え

一四貫六百二十四文 同人分

この利百四十二文 品々紙代、牛久割請とも

一金一兩一分二朱と二百七十五文 遠州浜松諸入用割り

この利二百四十九文 同人立替え

一三貫三百文 中飯十二人、両度分

一金二兩三朱と錢十貫三百六十二文 彦兵衛立替え

一錢六貫文 三給定使、稀なる通行に付き増し

正月七日 長南小歩賃錢

一六貫文 惣兵衛行一日三百文、二日分

正月十八日 長南小歩賃錢

一六貫文 瀬兵衛行一日三百文、二日分

正月十九日 長南御酒下され引き取り

一五貫文 人馬、松五郎行賃錢

四口ノ七貫七百文

總合わせて金十六兩二分と二十一貫百九十一文

兩に十貫八百文かえ

残して百九十九貫三百九十一文

勤左衛門
彦兵衛
安兵衛

高百七十二石

一錢八十五貫七百三十八文

高百四十八石

一〇七十三貫七百七十三文

高八十石

一〇三十九貫八百七十六文